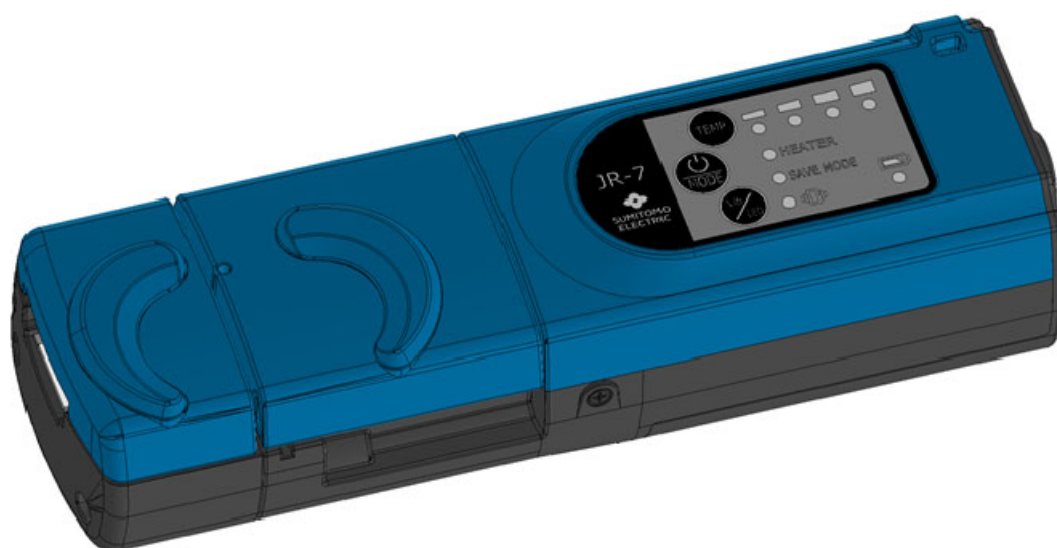


ホットジャケットリムーバ

JR-7

取扱説明書



- ・ご使用前に本取扱説明書をよくお読みください。
- ・本取扱説明書は、本製品のお手元においてお使いください。




安全にお使いいただくために

当社製品は安全を十分考慮して設計されています。しかし間違った使い方をすると、火災や感電などにより、人身事故につながる場合があります。事故を防ぎ安全にお使いいただくために次のことを必ずお守りください。



◆警告表示の意味

本製品およびこの説明書では次のような表示をしています。表示内容を良く理解してから本文をお読みください。

＜図記号の意味について＞

	この記号は注意(危険、警告を含む)を表します。製品に表示されている場合、取扱説明書に、一般的な注意、危険、警告の説明が記載されていることを表します。
	この記号は禁止(してはいけないこと)を表します。
	この記号は行動の強制あるいは指示(しなければならぬこと)を表します。


＜警告と注意の意味について＞

 警告	この警告を守らないと、火災や感電などにより死亡や大ケガなどの重大な事故につながることがあります。
 注意	この注意を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、本製品の本来の性能を発揮できなくなることがあります。

必ず、以下の警告・注意事項をお読みになってからご使用ください。

	警告
---	-----------

＜設置、ご使用について＞

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本製品は JIS C 0920 の防滴 I 型 IPX2 に対応した設計となっておりますが、故意に水の中に入れたり、濡らしたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。 2. 万一、内部に水が入った場合は、電源を OFF にし、バッテリーもしくは AC アダプタを抜いてご使用を中止して弊社サービス部門にご連絡ください。 3. 万一、発煙、異臭、異常音、異常な発熱などが発生したら、ただちにご使用を中止し、弊社サービス部門にご連絡ください。 4. ご使用中はヒータ面に触れないでください。ヒータ面およびその周辺は大変熱くなっているため、素手で触れると火傷をする恐れがあります。 5. 本製品の分解/改造をしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
--	--





- 6 除去刃の先端は鋭利になっておりますので直接手などで触れないでください。

＜バッテリーユニットの取扱について＞




1. バッテリーを分解したり、改造しないでください。バッテリーには、危険を防止するため安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、バッテリーが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
2. (+)と(-)を針金などの金属で接続しないでください。また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。バッテリーがショート状態となり、過大な電流が流れ、発熱、発煙、破裂、発火したり、あるいは金属が発熱する原因となります。
3. バッテリーを火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、安全機構を破損したり、電解液に引火して、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
4. バッテリーを火気(ストーブ等)に近づけたり、高温下での使用及び放置をしないでください。発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
5. バッテリーを水や海水などにつけたり、濡らさないでください。バッテリーに組み込まれている保護装置が壊れると、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
6. 高温環境下や炎天下などで充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き充電できなくなる場合や、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、発熱、破裂、発火する原因となります。
7. バッテリーの充電には、当社指定の充電器を使用してください。それ以外の充電器で充電しますと、バッテリーが過度に充電されたり、異常な電流で充電され、バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
8. 針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。バッテリーが破損、変形され内部でショート状態となり、発熱、破裂、発火する原因となります。

	<p>9. 強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。バッテリーに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧でバッテリーが充電され、バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、発熱、破裂、発火する原因となります。</p> <p>10. 直接ハンダ付けしないでください。熱により、絶縁物が溶け、安全機構を損傷して、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。</p> <p>11. 電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れ、発熱、発煙、破壊、発火の原因となります。</p> <p>12. バッテリーは指定の機器以外の用途に使用しないでください。バッテリーの性能や寿命が低下し、機器によっては異常な電流が流れバッテリーが破損したり、発熱、破裂、発火する原因となります。</p> <p>13. 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用しないでください。また、放置しないでください。バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。</p>
	<p>14. バッテリーには、プラス・マイナスの向きが決められています。うまくつながらない場合は、プラス・マイナスの向きを確かめてください。逆につなぐとバッテリーが逆に充電され、内部で異常な化学反応が起こり、発熱、破裂、発火する原因となります。</p> <p>15. バッテリーが漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると目に障害を与える原因となります。</p> <p>16. バッテリーの充電温度範囲は 0～40℃です。この温度範囲外での充電は、バッテリーを漏液、発熱、破損させる原因になります。また、バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。</p> <p>17. 満充電のバッテリーを再充電しないでください。バッテリーが高温になったり、寿命を低下させる原因となります。</p> <p>18. バッテリーが不要になったときは、法令の定める基準に従って処分してください。詳しくは弊社サービス部門にご相談ください。</p>




注意


<AC アダプタ・コード類の取扱について>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 融着機から給電する場合には、オプション（別売）の専用 DC コード（型番：PC-B(C)）を使用してください。それ以外を使用すると、動作不良や故障の原因となります。 2. 長期間、本製品をご使用にならない場合は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 3. AC アダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードの末端が劣化することがあります。 4. 濡れた手で電源コードの抜き差しやバッテリーの着脱を実施しないでください。感電の恐れがあります。
---	--


<保管について>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 湿気やほこりの多い場所での保管をしないでください。火災、感電、故障の原因になることがあります。
---	--

<ご使用・メンテナンスについて>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 被覆除去後のファイバ層は、安全のため手で取り除かず、ブラシ等で刃の周辺の清掃をしてください。 2. 被覆除去後のファイバは危険ですので、取扱には十分ご注意ください。 3. 刃は消耗品です。新品交換時は、弊社指定のものをご使用ください。交換は必ず上下セットで行ってください。適切に取り付けを行わないと、本製品の性能が十分に発揮されない場合があります（9.メンテナンスを参照）。 4. 高所から落下は破損の原因になりますのでご注意ください。 5. 刃の交換の際は、刃の先端が鋭利ですので直接触れないでください。
---	--

<バッテリーユニット取扱について>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 濡れた手でバッテリーを抜かないでください。火災、感電、故障の原因となります。 2. 充電は適切な環境(0～40℃)で行ってください。バッテリーを寒い屋外や冷えたまま(0℃以下)で充電すると、バッテリー液が漏れ、バッテリーの寿命を低下させる原因になります。 3. 一カ月以上使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーを付けたままにしておくと電源 OFF していても微小電流が流れ、過放電となり、バッテリーの寿命を低下させる原因となります。
---	--

目次

安全にお使いいただくために

1. はじめに	3
2. 概要	3
製品仕様	3
構成品	3
3. 構造および各部名称	5
4. 電源の準備	6
バッテリーについて	6
バッテリー残量の確認方法	6
バッテリーの充電方法	6
バッテリーの交換方法	6
AC 駆動	7
住友製融着機から DC12V 供給	7
5. 操作方法	7
6. 温度設定の変更	9
7. ヒータモードの切り替え	9
8. オートパワーオフ	10
9. LED 照明機能	10
10. 振動通知機能	10
11. 設定記憶機能	10
12. 4 心一括スペーサ	10
13. メンテナンス	10
日常清掃	10
刃の交換	11
トラブルシューティング	12
14. バッテリーの保存方法	13

1. はじめに

このたびは「JR-7 ホットジャケットリムーバ」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品は、「200 μ m12 心テープ心線及び間欠テープ心線」、「250 μ m テープ心線及び間欠テープ心線」の被覆除去を行うための加熱式リムーバで、業界初の「JIS C 0920 の防滴 I 型 IPX2」に対応した設計により、日常レベルの防滴性能、小型・軽量、スムーズな被覆除去性を実現しています。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容をよく理解してからご使用ください。本書は、お読みになった後も、本製品の手元においてお使いください。

防滴対応



本製品は、JIS C 0920 の防滴 I 型 IPX2 に準拠した製品ですが、無破損・無故障を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

2. 概要

製品仕様

適用光ファイバ	
ファイバ材質	石英系ガラス
被覆材質	UV 硬化型樹脂
ファイバ心数 および被覆厚 *1	単心: Φ 200 \sim Φ 500 μ m 2 \sim 12 心テープ心線: テープ厚 200 \sim 400 μ m
クラッド径	125 μ m
被覆除去長	最大 35mm

*1 光ファイバの被覆除去を行うには、別売の住友電工製ファイバホルダ FHS(単心用)または FHM(多心用)シリーズをご使用ください。200 μ m12 心テープ心線の被覆除去を行なうには、別売の FHM-12N もしくは PCH-12(ファイバピッチ変換用)が必要です。

仕様	
加熱温度設定	約 80 $^{\circ}$ C \sim 140 $^{\circ}$ C の 4 段階切り替え
省電力機能	ノーマルモード
	パワーセーブモード
バッテリー残量表示	4 段階の LED 表示 (インジケータあり)
ファイバセット方法	ファイバホルダ FHS または FHM、PCH シリーズを使用

電源供給方式	1) バッテリー駆動: 公称容量 1940mAh 専用バッテリー BU-6A を使用
	2) 住友製融着接続機から DC12V 供給 入力電圧 DC9 \sim 15V 出力電圧 DC9 \sim 15V 専用 DC コード PC-B(C)(オプション)を使用
	3) AC 駆動: AC90 \sim 264V、50/60Hz、AC アダプタ ADC-1220S を使用
バッテリー駆動時間 (除去可能回数)*1	100 $^{\circ}$ C 設定時: 約 10h (約 200 回) 140 $^{\circ}$ C 設定時: 約 7h (約 130 回)
外形寸法	46(W) x 146(D) x 37.5(H)mm
質量	約 253g (バッテリー含む)
環境条件	使用環境温度: -10 $^{\circ}$ C \sim +50 $^{\circ}$ C 保管環境温度: -40 $^{\circ}$ C \sim +80 $^{\circ}$ C (バッテリーを除く) 湿度: 95%RH 以下 (結露無し) 防滴性能: IPX2 相当 *3

*1 100% 充電した新品のバッテリーを使用し、パワーセーブモードにて室温環境 (約 25 $^{\circ}$ C) で 3 分に一回のペースで繰り返し被覆除去を行える回数の目安です。

使用環境により駆動時間、除去回数は異なります。

*2 IPX2 とは JIS C 0920 で規定された防水性能です。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

構成品

<標準構成品>

品名	品番	数量
ホットジャケットリムーバ *1	JR-7	1 台
バッテリー *2	BU-6A	1 個
AC アダプタ	ADC-1220S	1 台
AC アダプタ用 AC コード	PC-AC4-2P	1 本
注意事項カード*1	ETK2326052	1 部
キャリングケース *1	SSB-02	1 個
ストラップ *1	-	1 個

*1 は単独での販売は行いません。

*2 ホットジャケットリムーバ本体に内蔵された状態で出荷されます。

<オプション品>

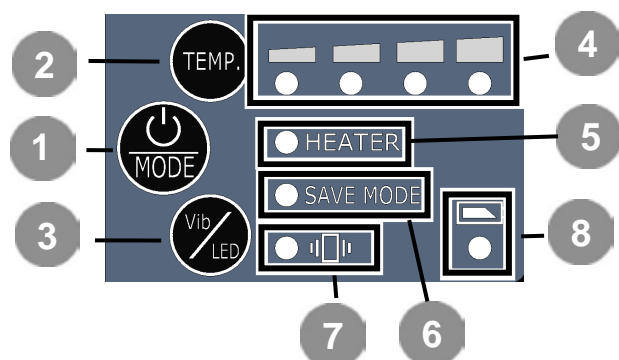
品名	品番	数量	備考
替え刃 *1	JR-7BL	1 組	上下各 1 枚
バッテリー	BU-6A	1 個	
AC アダプタ	ADC-1220S	1 台	AC コード付属
DC コード	PC-B(C)	1 本	融着機給電用

*1 替え刃は必ず専用の「JR-7BL」をご使用ください。旧モデルの「JR-6+BL」をご使用の場合、本品の製品仕様を満足する性能を得られません。

＜オプション品＞

品名		品番	数量	備考
ファイバホルダ	200μm ファイバ用	FHM-12N	1 組	12 心用
		PCH-12	1 組	ファイバピッチ変換用
	250μm ファイバ用	FHS-025	1 組	単心用
		FHM-2	1 組	2 心用
		FHM-4	1 組	4 心用
		FHM-05-4	1 組	4 心用
		FHM-5	1 組	5 心用
		FHM-6	1 組	6 心用
		FHM-8	1 組	8 心用
		FHM-10	1 組	10 心用
		FHM-12	1 組	12 心用

3. 構造および各部名称



- 1 電源 ON/OFF/ヒータモード切り替えスイッチ
電源 ON/OFF、電源 ON 時はヒータモード切り替えに使用します



- 2 ヒータ温度切り替えスイッチ
ヒータの温度を切り替える時に使用します



3 振動/LED 照明切り替えスイッチ

電源 ON 時に振動/LED 照明の ON/OFF 切り替えに使用します



4 設定温度 LED

ヒータの温度を表示します



5 ヒータ温度 LED

ヒータの加熱状態を表示します



6 セーブモード LED

省電力モード使用時に点灯します



7 振動 LED

振動 ON 時に点灯します

8 バッテリ充電状態表示 LED
バッテリ充電状態を表示します

4. 電源の準備

本製品への電源供給には、以下の 3 通りがあります。

1. バッテリ駆動
2. AC 駆動
3. 住友製融着接続機から DC12V 供給

バッテリーについて

工場出荷時は満充電となっておりませんので、
初めに充電してからお使いください。

バッテリー BU-6A は、JR-7 専用のリチウムイオンバッテリーです。残容量を使い切らなくとも継ぎ足し充電が可能です。JR-7 はお買い上げ時、本体内部にバッテリーが装着されています。

バッテリー残量の確認方法

① を 1 秒間押して、JR-7 の電源を投入してください。電源投入後、バッテリー充電状態表示 LED ⑧ が点灯し、バッテリー残量を 4 段階で表示します。

表示説明

LED 表示	残量割合(%)
●(緑)	30%以上
●(橙)	20% ~ 30%
●(赤)	10% ~ 20%
●(赤点滅)	10%以下

動作中にバッテリー残量が 10%以下になると、バッテリー充電状態表示 LED が赤点滅して警告を表示します。

※LED 表示は目安としてご利用ください。

バッテリーの充電方法

バッテリー BU-6A は JR-7 本体に装着したまま充電が可能です。

1. BU-6A を JR-7 に装着してください。(バッテリーの交換方法を参照)。
2. JR-7 に AC アダプタ ADC-1220S を接続し、コンセントにつなぎます



3. 充電が開始されるとバッテリー充電状態表示 LED 緑色に点滅します。
4. 充電時間はバッテリー残量によって異なりますが、約 2 時間で完了します。バッテリー充電状態表示 LED が緑色に点灯します

表示説明

LED の状態	表示の意味
緑点灯	充電完了
緑点滅	充電中
緑/赤交互点灯	本体またはバッテリーの異常

※異常が生じた場合は速やかにお問合せください。



警告

バッテリーの充電は 0℃～40℃の環境で実施してください。この温度範囲外で充電した場合は、バッテリーの寿命を低下させると共に、漏液、発熱、破損、発火の原因となる恐れがあります。

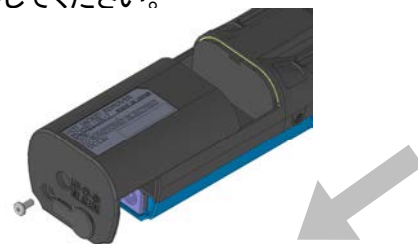


注意

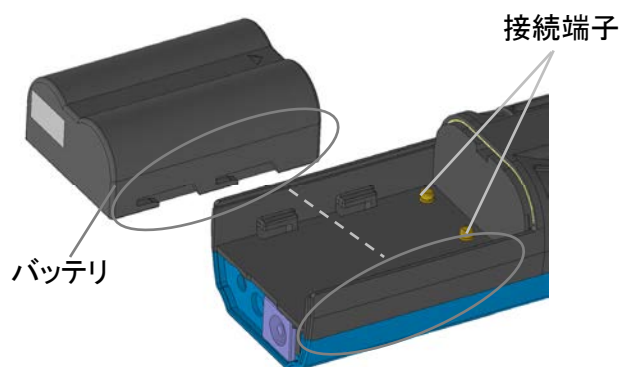
充電の際は、必ず JR-7 本体と AC アダプタ ADC-1220S (または住友製融着機) をご使用ください。それ以外の方法では感電、出火の恐れがあります。

バッテリーの交換方法

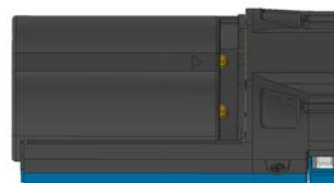
1. 六角レンチ(1.5mm)で固定ネジを外し、バッテリーカバーを外してください。



2. バッテリー BU-6A を下図の向きに取り付けます。

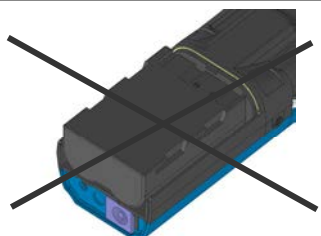


部の爪のかかりを合わせスライドしてください。



3. バッテリカバーを取り付けてください。六角レンチ (1.5mm) で固定ネジを締めてください。

(目標締め付けトルク: 約 10cNm)



注意 バッテリの取り付け向きにご注意ください。



注意 バッテリカバーは隙間が無いように確実に閉めてください。隙間がある場合、防滴効果が無くなります。

AC 駆動



AC アダプタ ADC-1220S を JR-7 の DC ジャックにつなぎ、AC アダプタをコンセントに接続します。

ポイント

バッテリー動作中に AC アダプタ ADC-1220S を JR-7 に接続すると、AC 駆動が優先されてバッテリーは使われません。

住友製融着機から DC12V 供給



1. DC コード(型番: PC-B(C)、オプション品)を JR-7 の DC にジャックに接続します。
2. もう一方のプラグを融着機のリムーバ用 DC 出力端子に接続します。

本機能は DC 出力端子のある住友製融着機のみ対応します。詳しくはご使用の住友製融着機取扱説明書をご確認ください。

5. 操作方法



1. 電源 ON

- ① 電源 ON/OFF スwitch を1秒以上押してください。



2. 温度設定

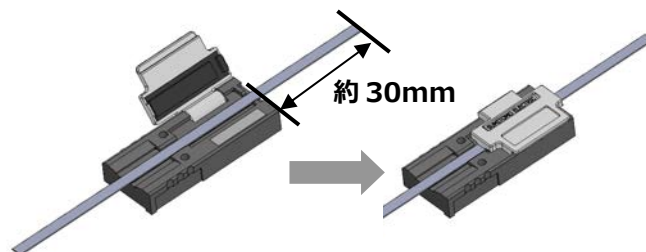
設定温度に到達する HEATER LED ⑤ が赤色→緑色点灯します。



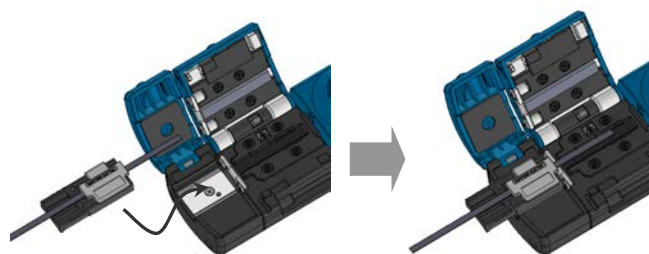
ご使用のファイバ、環境により最適な加熱温度は異なります。ご使用の際にご確認頂き、最適な加熱温度でご使用ください(「6. 温度設定の変更」を参照)。

3. 光ファイバをファイバホルダにセットしてください。

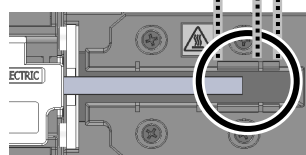
※ファイバはファイバホルダ先端から約 30mm 出してください。



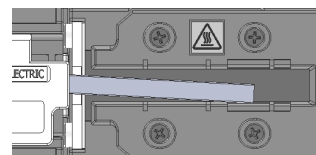
4. ファイバホルダをホルダ台にセットしてください。



除去位置 → FC-6R
→ FC-8R



良いセット状態

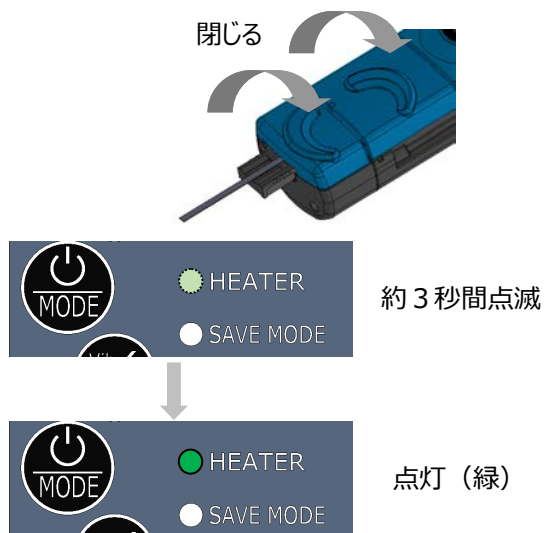


悪いセット状態

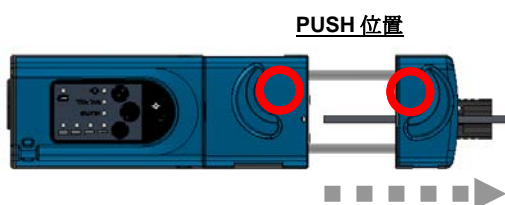


住友製光ファイバカッタをご使用の場合には、被覆先端の位置が「除去位置」の範囲にあることを確認してください。

5. ホルダ蓋と本体蓋を閉じてください。HEATER LED ⑤ が緑色の点滅から点灯に変わります（振動 ON の場合は本体が振動してお知らせします）。

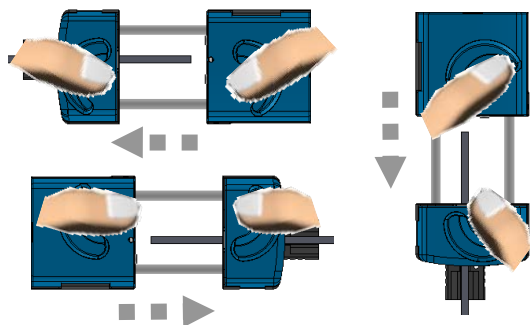


6. 本体蓋の PUSH 位置をしっかりと押さえ、HEATER LED ⑤ が点灯したのを確認後、スライド部を矢印の方向に真っすぐにゆっくり引いてください。



PUSH 位置をしっかりと押さえたまま、真っすぐにゆっくり引いてください。

持ち方の例)



※凸部に指を引っかけて指を固定します。



ポイント 1 - LED 点滅中の本体蓋の押さえ

ヒータの熱をファイバへしっかり伝えるため、本体蓋を閉じたあと、HEATER LED 点滅中も本体フタの PUSH 部を真下方向へ押さえてください。

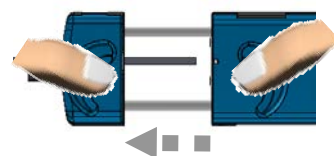


- ・PUSH 部を押さえる際は真下方向に力を入れるように押さえてください。
- ・ホルダ側や操作パネル側へ力を掛けないように注意してください。
- ・PUSH 部をしっかり押さえてください。
- ・本体蓋及びホルダフタを動かさないように注意してください。



ポイント 2 - スライドの動かし方

HEATER LED 点灯確認後、本体蓋及びホルダ蓋をしっかりと押さえたまま、本体側を動かさないように固定し、ホルダ側を真っすぐ水平にゆっくりスライドさせてください。

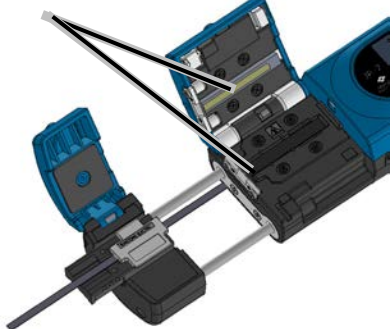


- ・ホルダ側を真っすぐ水平に引き、上下左右に力を加えないでください。
- ・スライドの際にフタはしっかりと押さえたままスライドしてください。
- ・スライドの際に本体側を動かさないように注意してください。



7. 被覆除去が完了しました。ファイバホルダを取り出し、UV 被覆をブラシ等で取り除いてください。

UV 被覆



注意

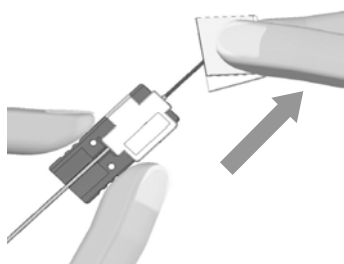
除去した UV 被覆の取り忘れにご注意ください。



8. 電源 OFF

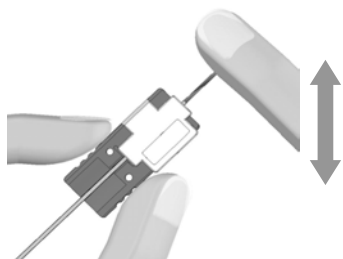
- ① 電源 ON/OFF スイッチを操作パネルの LED が消灯するまで1秒以上、押してください。

9. 高純度 99%以上のエチルアルコールを浸したガーゼで矢印の方向にファイバを清掃してください。



※一度使用したガーゼは使用しないでください。

10. 光ファイバ先端を指ではじき、光ファイバが重ならないように整列させてください。

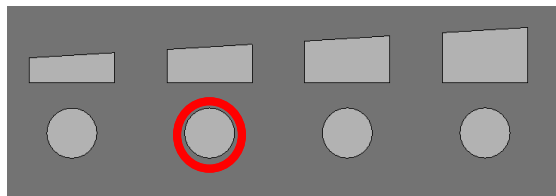


注意

光ファイバの先端が指に刺さらないようにご注意ください。

6. 温度設定の変更

温度設定の変更は、② TEMP. スイッチで行います。電源投入時は左から 2 番目に設定されています。



お客様のご使用テープファイバおよび使用環境温度に合わせた温度設定が可能です。

7. ヒータモードの切り替え

ヒータモードの切り替えは、① 電源 ON/OFF/ヒータモード切り替えスイッチで行います。このスイッチを短く(1 秒以内)押すことで、ノーマルモードとパワーセーブモードの切り替えが可能です。通常はノーマルモードでご使用ください。

※ ① 電源 ON/OFF/ヒータモード切り替えスイッチを 1 秒以上押すと電源 OFF します。

1. ノーマルモード

待ち時間なく、連続使用する事が可能なモードです。

2. パワーセーブモード

バッテリー持続時間を延ばす省電力動作モードです。蓋を開ける加熱を切ります。また HEATER LED が赤色⇒緑色に点灯後、約 20 秒間、蓋の開閉を行わなかった場合も加熱を切ります。本体蓋を開閉することで、設定温度への加熱を再開します。

8. オートパワーオフ

約 15 分間本体蓋を開閉しない状態が続くと自動的に電源が切れます。

9.LED 照明

JR-7 には LED 照明機能が搭載されています。

右図の Vib/LED ボタンを押し続けず短く押すと、ライトが点灯します。



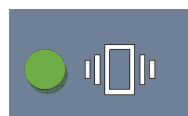
10.振動通知機能

JR-7 には振動通知機能が搭載されています。

右図の Vib/LED ボタンを押し続けると設定がオンになります。



オンにすると、右図のインジケータが緑色に点灯します。



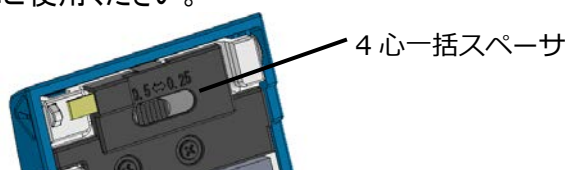
11.設定記憶機能

JR-7 は、電源を切っても以下の機能に関しては最後に使用した設定が記憶されています。

項目	設定
1	ヒータ温度設定
2	Nomal/Save モード
3	振動通知機能
4	LED 照明

12.4 心一括スパーサ

JR-7 には 4 心一括スパーサがついております。スイッチを切り替えて 0.5mm 心線の被覆除去の際にご使用ください。



500μm 用



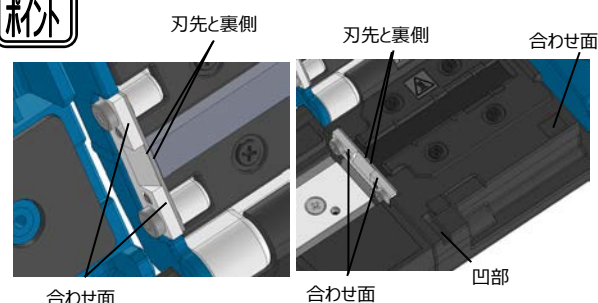
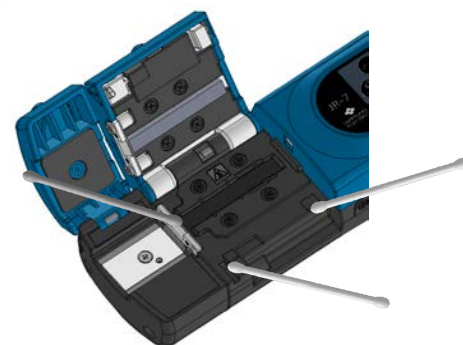
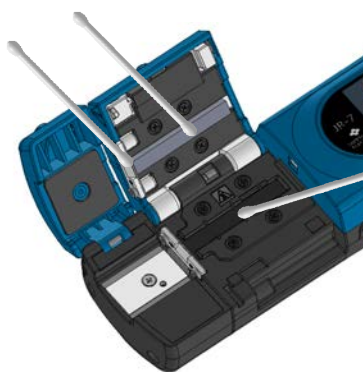
200μm/250μm 用

13. メンテナンス

日常清掃

本製品の性能を維持する為に、ご使用前後には必ず、次の清掃を行ってください。

高純度 99%以上のエチルアルコールを浸した綿棒で、刃、合わせ面、凹部、ヒータ、ゴム部を清掃してください。



「上下の刃の合わせ面」や「凹部」、「刃先と裏側」などの被覆屑はしっかり取り除いてください。



1. 刃、ヒータ、ゴム部に被覆カス等のゴミが付着していると、除去性能を損なう原因になります。
2. 清掃には、高純度 99%以上のエチルアルコール以外の薬品を使用しないでください。純度が低いと刃が錆びたり、ゴムの劣化がおこりやすくなります。

刃の交換

弊社保守サービス部門での交換を推奨いたします。
刃は鋭利ですので、取扱には十分ご注意ください。

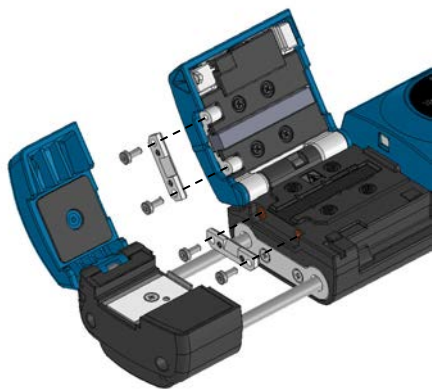
交換の際は、安全のため、本体が以下の状態であることを必ず確認してください。

- ① 電源が OFF であること
- ② バッテリーが抜いてあること
- ③ ヒータが冷えていること(電源を切ってから 5 分間以上お待ちください。)

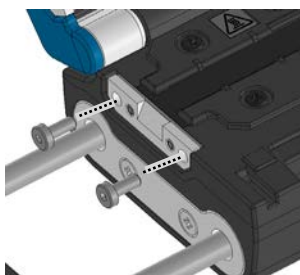


・取り替えは上下セットで行ってください。上下の区別はありません。
・替え刃は必ず専用の「JR-7BL」をご使用ください。旧モデルの「JR-6+BL」をご使用の場合、本品の製品仕様を満足する性能を得られません。

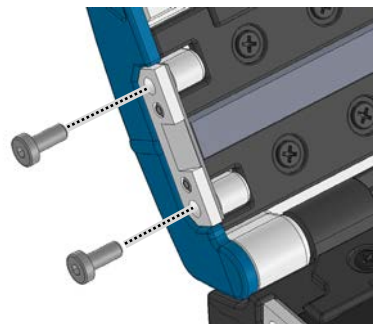
1. 六角レンチ (1.3 mm) で固定ネジを緩め、上下の刃を外してください。



2. 下刃を新品と交換し、固定ネジで仮固定します。



3. 上刃を新品と交換し、固定ネジで仮固定します。



4. 上下の刃のネジを刃が前後に動く程度に緩めます。



上下の刃が動くことを確認してください

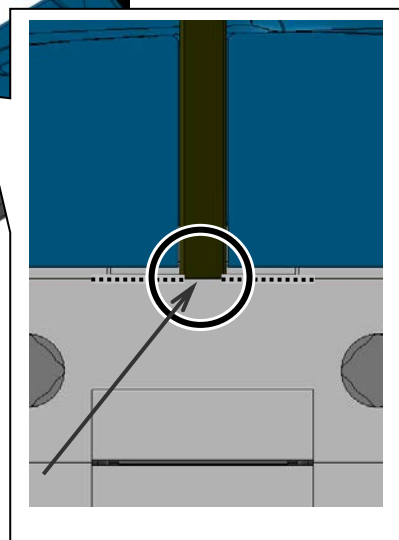
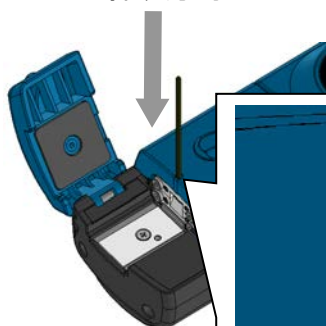
5. 上刃の調整

- ① 本体蓋を閉じ、中央部の穴に六角レンチ (1.3mm) を入れ、下図の方向に押し付けながら、上刃と下刃の中心部分にある溝が合うように固定ネジを締めてください。
(目標締め付けトルク: 17.6cNm)

中央部の穴

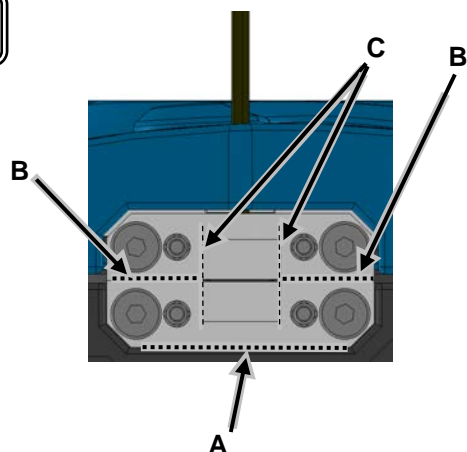


押す方向



左右の固定ネジを、締め付けが均等になるように、交互に閉めてください。

Tips



A 下刃に隙間がないことを確認してください



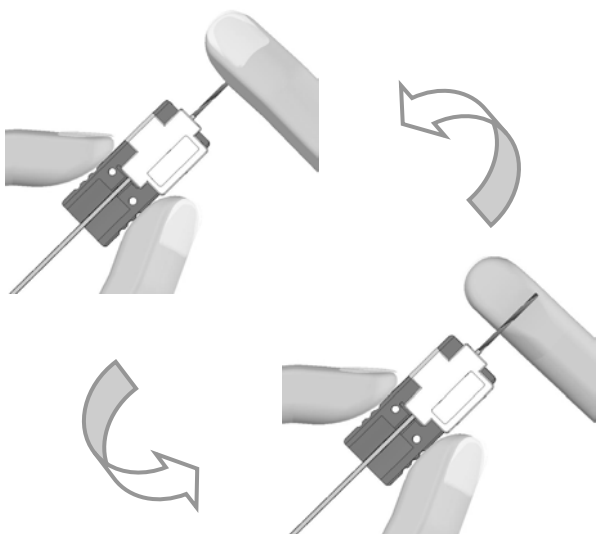
B 上下の刃に隙間がないことを確認してください

C 上下の刃のラインが揃っていることを確認してください



「5.操作方法」1～10 の操作をし、刃の交換が正しく行われたか確認をしてください。

6. 刃の交換後、被覆のテスト除去を行ってください。下図のように、ファイバを指で軽く上下させ、断線の無いことを確認してください。



注意

光ファイバの先端が指に刺さらないようにご注意ください。

トラブルシューティング



良好



不良

光ファイバの断線



被覆際の不揃い



被覆除去出来ない

除去不良は次のような原因で起こる可能性があります。

(A)清掃が不十分

刃、ヒータ、ゴム部に被覆カス等のゴミが残っていると良好な被覆除去が行えない場合があります。

13.メンテナンス、日常清掃を参照してください。

(B)刃が被覆に当たっていない

①刃の調整が不適切になっている可能性があります。刃が適切に取り付けられているか確認してください。

13.メンテナンス、刃の交換を参照してください。

②刃が摩耗している可能性があります。

適切に刃の位置を調整しても除去不良が生じる場合は、刃が摩耗している可能性があります。弊社保守サービス部門までお問い合わせください。

13.メンテナンス、刃の交換を参照してください。

保守サービス部門お問合せ先は裏表紙を参照してください。

③本体蓋の PUSH 部を十分に押せていない可能性があります。被覆除去時に PUSH 部を十分に押さえてください。

5.操作方法、を参照してください。

(C)被覆除去がしにくい、被覆が崩れる

被覆材の成分や周囲環境温度によっては、ヒータの温度設定を変更する必要があります。一般的には、周囲環境温度が低い場合には、ヒータの設定温度を上げることで除去しやすくなります。

6.温度設定の変更、を参照してください。

14. バッテリーの保存方法

本製品を一カ月以上使用しない場合、以下のことを行ってください。

- 1) バッテリーを JR-7 本体から外してください。
- 2) バッテリーを保存する環境は、温度 20℃程度の涼しいところに置いてください。
- 3) 半年に 1 度、20 分程度の補充電を行ってください。

初版 2023.10.11

A 版 2024.01.24

保守サービス部門お問い合わせ先

<http://www.optigate.jp>

住友電工オプティフロンティア株式会社

湘南工場 お客様サービスセンター メンテナンス担当

〒253-0087 神奈川県茅ヶ崎市下町屋 1-5-1

フリーダイヤル : 0120-853-723 e-mail : u-mainte-east@info.sei.co.jp